

平成 19年 2月 15 日

各 位

ホソカワミクロン株式会社

代表取締役社長 細川 益男

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 1 丁目 9 番地

6277 東証・大証 第一部

**新産業を創出するホソカワのナノパーティクルテクノロジー
複合ナノ粒子、多成分ナノ粒子 量産技術の公開**

「fanotech 2007」(東京ビックサイト)にて展示発売開始

この度当社は、複合ナノ粒子や多成分ナノ粒子を連続的に且つ量産できる画期的なシステム「ホソカワミクロン ナノクリエータ」の新規発売を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本システムは、これまで、社内の研究用にのみ用いておりましたが、この度、この技術を産業界に広く提供し、ナノテクノロジー関係者の幅広い研究協力のもと、ナノテクノロジーをベースとした新産業の創出に貢献すべく、公開に踏み切った次第です。

なお、本システムは、2月21日(水)から開催される「fanotech 2007」(東京ビックサイト)に展示し、販売活動を開始いたします。

<経緯>

当社は、従来からの粉体処理機械・装置の開発・製造販売とともに当社が開発した独自の複合ナノ粒子およびその応用製品(化粧品、SOFC電極材料、等)を販売するナノマテリアル事業を立上げ、その強化拡大に取り組んでおります。

このナノマテリアル事業の一環として、当社で開発した複合ナノ粒子そのものの製造・販売も行っておりますが、一方、産業界からは、製品としてのナノ粒子や複合ナノ粒子の販売だけでなく、多品種・多組成のナノ粒子を量産できる装置そのものの販売を要望する声が大きくなってまいりました。

新製品「ホソカワミクロン ナノクリエータ」は、そのような産業界からの要望にお応えするとともに、一歩進んで、社外のより幅広い研究に使っていただくことで、まったく新しい新素材の発見、ひいては、それが新産業創出につながっていくものと期待いたしております。

<システム概要>

1. 装置名称 「ホソカワミクロン ナノクリエータ」

2. 型式と標準能力

型 式	FCM-LAB	FCM-400	FCM-800
標準能力	100 g / h	500 g / h	2 kg / h

(注) 上記能力は、原料の種類、目的によって変化いたします。

3. 主ユーティリティ 酸素ガス、燃料ガス、冷却ガス、等

4. 主要対象 無機酸化物

5. 価 格 FCM-LAB一式 420万円(運賃、工事、試運転等含まず)

6. 販売目標 10セット/年間

<システムの特徴>

1. 「ナノクリエータ」は粉碎操作によって粒子をブレイクダウンする方法ではなく、当社独自のビルドアップ手法「瞬間気相生成法(Flash Creation Method)」により連続的にナノ粒子を生成・量産できるシステムです。

2. ひとつのシステムで、ナノ粒子の複合構造やナノ粒子中の組成制御、微量成分のドーピング等も自在に行うことが可能です。(注) テスト装置も準備いたしております。

3. 粒子の大きさは数ナノ(nm)から数百ナノ(nm)と幅広い範囲の粒子径の粒子生成が可能です。

(注) 1ミクロン=百万分の1メートル、1ナノメートル=10億分の1メートル

<主たる用途>

ナノ粒子はそのサイズの特徴から、比表面積の増加に伴う活性化、焼結温度の低下、反応性・拡散速度の向上など、ミクロン単位の粒子とは異なる機能・物性が発現いたします。

「ナノクリエータ」で生成されるナノ粒子は、蛍光材料、SOFC電極材料、触媒、誘電材料、研磨材料、各種セラミックス部材原料など、幅広い分野に広がっています。

<特許出願>

本システムは、弊社の研究開発子会社である株式会社ホソカワ粉体技術研究所(社長 向阪保雄、所在地 弊社枚方事業所内)によって開発され、既に特許出願済みです

(注)本システムは、その開発費用の一部をNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の「産業技術実用化開発費補助事業」の助成金によっております。

以上、お知らせいたします。

本件お問合せ先

・全般的な内容 :ホソカワミクロン株式会社 広報・IR担当理事 荒川 隆

電話 :072- 855- 2226 FAX :072- 855- 2410

・技術的な内容 : 同 知財・学術情報部 統括部長 横山 豊和

電話 :072- 855- 2307 FAX :072- 855- 2561